

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ミューチュアル
 コード番号 2773 URL <http://www.mutual.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 榎本 洋
 (氏名) 吉野 尊文

TEL 06-6315-8613

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,516	5.4	2	—	28	—	18	—
26年3月期第2四半期	3,337	△24.7	△133	—	△243	—	△137	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 51百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △89百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	2.60	—
26年3月期第2四半期	△18.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
27年3月期第2四半期	12,152	—	7,500	—	59.8	1,022.72		
26年3月期	12,089	—	7,579	—	60.7	1,032.74		

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 7,263百万円 26年3月期 7,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,713	2.6	378	△34.6	403	△41.8	234	△32.1	33.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	7,620,320 株	26年3月期	7,620,320 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	518,053 株	26年3月期	518,033 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	7,102,284 株	26年3月期2Q	7,277,887 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に回復基調を維持しているものの、個人消費におきましては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動や円安の進行による物価上昇に加え天候不順等の特殊要因も重なり、景気回復ペースは鈍いものとなりました。また、世界的には欧州経済の低迷に加え、ウクライナ紛争や香港の民主化デモ等地政学リスクもあり、日本への影響も懸念されることから、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは主に食品業界へ向け、各国よりリーズナブルな機械を取り揃え、新たな展示会に出展するとともに、子会社三晴精機を関東工場内に集約する等、製造機能の拡充を図り大型ラインの受注獲得にも注力して参りました。売上高につきましては、ほぼ計画通りに推移し、前年同期比178百万円増加いたしました。損益面におきましては、増収に加え売上高総利益率が原価低減努力により2.6ポイント改善され、売上総利益は126百万円増加しました。また、人件費や諸手数料等の削減により販売費及び一般管理費が減少したため、営業利益以下の各段階利益も増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,516百万円（前年同期比5.4%増）、売上総利益は784百万円（同19.2%増）、営業利益は2百万円（前年同期は133百万円の損失）、経常利益は28百万円（前年同期は243百万円の損失）、四半期純利益は18百万円（前年同期は137百万円の損失）となりました。

報告セグメントに基づく各事業別の概況は以下の通りであります。

①産業用機械事業

当セグメントにおきましては、売上高全体では3,153百万円（前年同期比3.8%増）でありました。このうち、検査装置が1,056百万円（同121.3%増）、改造・調整・修理が703百万円（同25.6%増）、部品が395百万円（同16.5%増）と好調に推移いたしました。包装機が194百万円（同69.0%減）、一連ラインが197百万円（同32.1%減）、製剤機が199百万円（同29.8%減）、充填機が406百万円（同11.5%減）と減少しました。

②工業用ダイヤモンド事業

当セグメントにおきましては、売上高321百万円（前年同期比22.7%増）となりました。内訳では、人造ダイヤモンド133百万円（同8.0%減）、原石94百万円（同16.0%増）、機械類45百万円（同3051.4%増）、パウダー33百万円（同1.5%増）等となっております。

③その他

その他は、主に坐薬用包装資材の販売で売上高41百万円（前年同期比13.9%増）であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比62百万円増加し、12,152百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が1,759百万円減少する一方で、現金及び預金が734百万円、仕掛品が720百万円、前渡金が236百万円増加したこと等によるものです。負債につきましては、前連結会計年度末比142百万円増加し、4,651百万円となりました。これは主として未払法人税等が269百万円減少する一方で、前受金が396百万円、支払手形及び買掛金、電子記録債務が67百万円増加したこと等によるものです。純資産は、その他有価証券評価差額金が41百万円増加しましたが、配当金の支払い127百万円等により7,500百万円となり、前連結会計年度末比79百万円の減少となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は3,830百万円となり、前連結会計年度末より757百万円増加となりました。主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は992百万円（前年同期比1,225.7%増）となりました。これは主にたな卸資産の増加718百万円、前渡金の増加236百万円等により減少したものの、売上債権の減少1,759百万円、前受金の増加396百万円等により増加したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は103百万円（前年同期は129百万円の取得）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出67百万円、投資有価証券の取得による支出23百万円等により減少したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は131百万円（前年同期比56.9%増）となりました。これは主に配当金の支払額127百万円等により減少したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しとしては、国内・海外とも不安定要素が多く、依然として不透明な状況が続くものと思われませんが、現状では平成27年3月期 通期連結業績予想につきましては、前回発表（平成26年5月19日公表「平成26年3月期 決算短信」）から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,157,186	3,891,754
受取手形及び売掛金	3,810,755	2,051,163
有価証券	54,943	56,877
商品及び製品	74,586	74,573
仕掛品	883,600	1,604,354
原材料	68,022	65,958
前渡金	717,003	953,878
繰延税金資産	97,963	69,224
その他	100,367	111,678
貸倒引当金	△4,549	△1,456
流動資産合計	8,959,879	8,878,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	452,094	450,563
土地	632,932	632,932
その他(純額)	60,439	104,993
有形固定資産合計	1,145,466	1,188,489
無形固定資産		
のれん	13,692	9,128
その他	9,074	9,088
無形固定資産合計	22,767	18,216
投資その他の資産		
投資有価証券	1,212,226	1,304,482
長期預金	251,500	251,200
その他	1,128,858	1,142,849
貸倒引当金	△631,543	△631,125
投資その他の資産合計	1,961,041	2,067,406
固定資産合計	3,129,275	3,274,112
資産合計	12,089,154	12,152,118

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,138,578	2,147,204
電子記録債務	278,572	337,470
短期借入金	157,600	168,720
1年内返済予定の長期借入金	19,920	19,920
未払法人税等	279,890	10,259
前受金	1,060,631	1,457,350
賞与引当金	83,003	88,605
その他	173,622	133,144
流動負債合計	4,191,818	4,362,674
固定負債		
長期借入金	12,020	2,060
退職給付に係る負債	189,268	164,659
役員退職慰労引当金	68,496	70,928
その他	47,908	51,520
固定負債合計	317,693	289,169
負債合計	4,509,512	4,651,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	695,975	695,975
利益剰余金	5,789,422	5,680,016
自己株式	△262,272	△262,281
株主資本合計	6,892,825	6,783,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	381,339	422,411
繰延ヘッジ損益	60,111	57,460
為替換算調整勘定	535	314
その他の包括利益累計額合計	441,986	480,186
少数株主持分	244,829	236,676
純資産合計	7,579,641	7,500,274
負債純資産合計	12,089,154	12,152,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,337,233	3,516,121
売上原価	2,678,919	2,731,578
売上総利益	658,314	784,543
販売費及び一般管理費	792,117	782,307
営業利益又は営業損失(△)	△133,802	2,236
営業外収益		
受取利息	7,377	6,077
受取配当金	14,255	13,264
投資有価証券売却益	157,128	—
その他	8,639	10,454
営業外収益合計	187,400	29,796
営業外費用		
支払利息	757	788
投資有価証券評価損	6,745	—
貸倒引当金繰入額	289,000	—
為替差損	—	3,119
その他	242	10
営業外費用合計	296,744	3,917
経常利益又は経常損失(△)	△243,146	28,114
特別利益		
固定資産売却益	28	2,197
特別利益合計	28	2,197
特別損失		
固定資産売却損	—	52
特別損失合計	—	52
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△243,118	30,259
法人税、住民税及び事業税	1,622	7,765
法人税等調整額	△92,803	10,245
法人税等合計	△91,181	18,011
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△151,937	12,247
少数株主損失(△)	△14,575	△6,187
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△137,361	18,435

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△151,937	12,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,159	42,455
繰延ヘッジ損益	6,339	△2,650
為替換算調整勘定	3,015	△220
その他の包括利益合計	62,513	39,584
四半期包括利益	△89,423	51,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△74,622	56,635
少数株主に係る四半期包括利益	△14,800	△4,803

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△243,118	30,259
減価償却費	21,066	24,587
のれん償却額	4,564	4,564
投資有価証券売却益	△157,128	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	288,518	△3,510
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,288	5,601
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,114	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△24,617
受取利息及び受取配当金	△21,632	△19,342
支払利息	757	788
売上債権の増減額(△は増加)	1,373,835	1,759,517
前受金の増減額(△は減少)	120,460	396,296
たな卸資産の増減額(△は増加)	△536,259	△718,953
仕入債務の増減額(△は減少)	△360,779	67,439
前渡金の増減額(△は増加)	△114,368	△236,971
その他	△164,300	△30,099
小計	228,017	1,255,560
利息及び配当金の受取額	21,604	15,480
利息の支払額	△757	△788
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△173,970	△277,396
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,894	992,856
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△70,700	△70,700
定期預金の払戻による収入	72,500	72,500
有価証券の売却による収入	49,900	—
有価証券の償還による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△24,380	△67,577
投資有価証券の取得による支出	△55,923	△23,971
投資有価証券の売却による収入	26,147	—
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
貸付けによる支出	△132,009	—
貸付金の回収による収入	69,355	1,749
その他	△4,949	△15,662
投資活動によるキャッシュ・フロー	129,941	△103,662
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	43,000	10,880
長期借入金の返済による支出	△9,960	△9,960
配当金の支払額	△109,168	△127,647
少数株主への配当金の支払額	△7,350	△3,350
その他	△166	△1,180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△83,644	△131,258
現金及び現金同等物に係る換算差額	△223	△364
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	120,966	757,571
現金及び現金同等物の期首残高	2,184,555	3,073,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,305,522	3,830,857

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,039,196	261,587	3,300,783	36,450	3,337,233	—	3,337,233
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,039,196	261,587	3,300,783	36,450	3,337,233	—	3,337,233
セグメント利益	73,789	43,090	116,880	1,803	118,683	△252,485	△133,802

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△252,485千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,153,566	321,049	3,474,615	41,505	3,516,121	—	3,516,121
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,153,566	321,049	3,474,615	41,505	3,516,121	—	3,516,121
セグメント利益	189,942	37,116	227,058	3,333	230,391	△228,155	2,236

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△228,155千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。